＊:・° ☆。, :＊:・★。, :＊:・° ☆。, :＊:・° 。, : ＊:・° ☆。, :＊:・★。, :＊:・°

みらいつうしん

9月号

２０１７年９月１日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長　長南　康子

☆。, :＊:・★。, :＊:・° ★。・° ＊:・＊:・。, : ・ ☆。, :＊:・★。, :＊:・°

厳しい暑さと降り続く雨の日、急激な天候の変化にお子さんと過ごす毎日はご苦労も多かったのではないでしょうか。

みな元気な様子で２学期を迎えることができて、大変うれしく有難い気持ちで一杯です。

夏の間、園庭の雑草もぐんぐんと伸び生い茂っています。虫探しをしたり、色水やごちそう作りをしたりして、子ども達は夢中になって遊ぶことでしょう。

変化の著しい社会を鑑みて、時代に即した教育改革が進められています。国は保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を改訂し、２０１８（平成３０）年度から施行されます。

子ども一人一人の資質・能力を、家庭、地域、園や学校と共に育んでいくこと、そして、全ての子どもが質の高い幼児教育を受けることを目指しています。

具体的には乳幼児期にふさわしい生活をどのように展開していくかを教育課程に明確にして進めることです。

本園では、これまでも、環境を通して行うことを乳児・幼児教育の基本としてきました。保護者の方々をはじめ皆様から、ご支持をいただいてきた遊びを通して主体性等人間形成の基礎をつくる乳幼児期の教育の大切さが、教育改革の柱として、しっかり示されたことは喜ばしいことです。

最近、出版された幼児教育の専門書には本園の実践事例が掲載されています。園庭の水たまりを見つけて遊ぶ様子や、砂場でげきごっこをする様子がいくつかの視点で考察が加えられ、紹介されています。（※『ワクワク！ドキドキ！が生まれる環境構成　』発行：ひかりのくに）

子ども達にどのような環境が必要か、遊んでいる子どもは何を見て、どのような経験をしているのかさらに、子ども達の学びを深めていくために、求められることは何か。等々、保育者としての資質をさらに磨いていくことの重要性を職員で再確認したこの夏でした。

園庭の雑草も、芋畑の芋のつるも、築山も、積み木も様々な遊具も全てが子ども達にとって学びを深める環境という教科書です。そして、忘れてはいけない子ども達を育む大切な環境は人です。自分とは違う思いの友だちがいること、また、安心感を与え、人としてのモデルとなる大人がいることにも目を向けて、子ども達との生活を紡いでいきたいと思います。

２学期もどうぞよろしくお願いいたします。

（長南）

支援センター「とも」では、ベビーマッサージを実施しています。講師より参加者に『ここで赤ちゃんにやったことを、是非上のお子さんにもやってあげてください。体を触って、“こうやったんだよ！”それが大事です』と。後日、すぐに実践したお母さんから『お兄ちゃんが凄く嬉しそうで、やって良かったです。最近赤ちゃんかえりがみられ困っていたので・・』と感想をいただきました。

「自分を差し置いて、下の子ばかりに構っている」という「やきもち」が原因です。そんな時の接し方のコツは、上の子には、いまの年齢より 2 歳位下げた態度で接するのが一番です。また、出産後だけではなく、大きくなっても、上の子が思うように動いてくれなくて、つい叱ってしまうこともあるでしょう。でも、その時に言ってはいけないのは『お兄ちゃんなんだから』『もう○歳なんだから』という言葉。上の子は理不尽さと不公平感を感じますね。ただし、ママのお手伝いをしてくれたら「さすがお姉ちゃんだね！」と、前向きな場面で使うのは大丈夫です。さらに、上の子が帰宅して手を洗っていたら「あ、手を洗ったんだね」「遊んでいるんだね～」などとお母さんが“声を掛けるだけでも上の子の心は安定します。親が自分のことをしっかり見てくれている、という安心感につながるのです。本園でも、ありのままの姿を受け入れることで子どもたち一人一人に自己肯定感が生まれるよう２学期も元気に笑顔で取り組んでまいります。

副園長　久富紀子

１Ｆ
玄関ホール

３歳保育室
前テラス

☆１階玄関ホール、３歳保育室前テラスの改良工事を行いました。
工事中は、ご不便をおかけし、また、ご協力をいただきありがとうございました。